

# 『衣類乾燥機』の使用にご注意ください！

こんな事故が起こっています

オイルの染みこんだタオルが乾燥中に発火。



食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル（ボディオイル、エステ系のオイルなど）、ベンジンやシンナー、ガソリン、樹脂（セルロース系）などの付着した衣類や、ポリプロピレン繊維製の衣類は洗濯後でも絶対に乾燥しない



禁止



油の酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

これが原因

乾燥した時の余熱によりオイルが酸化発熱し自然発火。

ここに注意

食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル（ボディオイル、エステ系オイルなど）、ベンジン、シンナー、ガソリン、樹脂（セルロース系）などの付着した衣類や、ポリプロピレン繊維性の衣類は洗濯後でも絶対に乾燥機に入れて乾燥しない。